教育目標「考える子 思いやりのある子 たくましい子」



せんだんの木



伊勢崎市立茂呂小学校 学校だより No.15 令和7年3月3日

今日3月3日は「ひな祭り」。人形を飾って災いを払い、女子の成長を祝う行事です。ひな人 形を飾っているご家庭も多いのではないでしょうか。

ひな人形は一般的に七段に分かれています。全体で、結婚式の様子を表しているとされ、人形の下には魔よけの赤い布を敷きます。一番上の段が男びなと女びな。結婚式でいうとお婿さんとお嫁さんですね。二段目は三人官女、三段目は五人囃子、四段目は右大臣左大臣の随身、五段目は仕丁、六段目七段目は様々な持ち道具が飾られます。ひな人形は、昔から伝わる日本のしきたりを見ることができます。座席の順番や配膳の仕方などの日本の文化を学ぶこともできます。人

形や道具それぞれに意味があるのですね。そこで、今は図書室の「季節の本コーナー」に、ひなまつり関係の本を展示・紹介しています。伝統的な日本の行事の意味を理解していくことも大切にしたいものです。



【よい習慣は よい成果を生む ~ノートをとり、活用するカ~】

先週、CRT (学力検査)の結果表を一人一人に返却しました。どの学年とも、全国と比べて 到達度が高く、望ましい状態です。学年末にかけては、各学級において弱点補強に取り組み、新 学年の学習がスムーズにスタートできるようにしていきます。ご家庭でもお子さんの到達状況を 確認いただき、家庭学習などでのサポートをお願いします。

小中学校という義務教育段階では、授業を通して「学びの基礎」を確実に身に付けることが大切です。特に、毎時間の学習で使っている「ノート」がしっかりとれる、活用できる力を低学年の内から少しずつ身に付けてほしいと思います。

「ノート」には多くの役割や効果があります。

- ○書く力や計算等の基礎基本を身に付ける(→学習理解や基礎学力が定着する)
- ○調べたこと、分かったこと、考えたことを整理する(→自分の考えが明確になる)
- ○学習したことや、自分の思考の過程や成果を残す

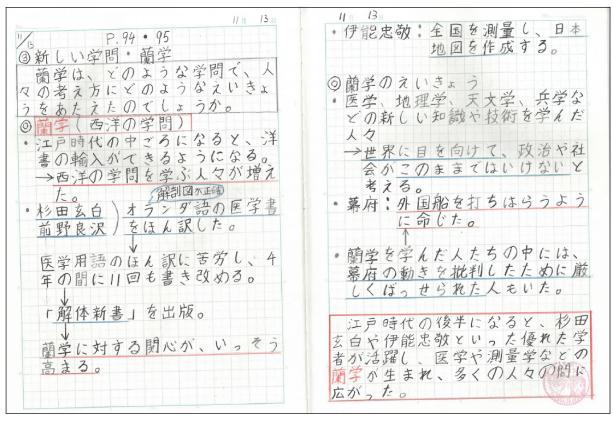
(→学びを振り返り、復習や次時、家庭学習に活用できる)

- 〇仲間とノートを見合ったり、友だちの考えを書き加えたりする
 - (→自分の考えが広まったり、深まったりする)
- ○自分の学びや変容、成長に気付く(→学習意欲の向上や学習への充実感を得ることができる)

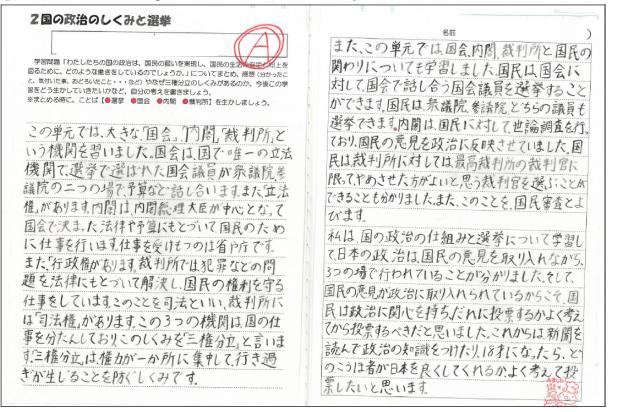
情報化社会が進む現代ですが、やはり「基本が大事」です。「ノート」で授業中の自分の学びを 創意工夫しながら進め、日々の学習や家庭学習に活用する力をぜひ身に付けてほしいと思います。 ご家庭でも、お子さんのノートを見て、褒めたり、感想を伝えたりする「言葉かけ」で自信を

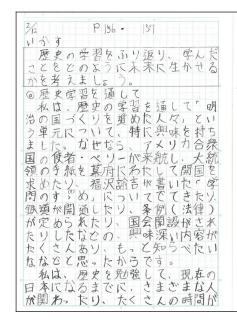
ご家庭でも、お子さんのノートを見て、褒めたり、感想を伝えたりする「言葉かけ」で目信をもたせる、例えば「マス目に数字を書くと、位がそろって正しく計算できるよ」などとアドバイスをする、「このとき、どんなことを考えたの?」と質問するなどしていただけると子供たちの学習意欲も高まると思います。

また、<u>ノートを「最後まで使い切ること」</u>がとても重要です。「最後まで使い切った」という 達成感が「自分もやればできる」という自信に、そして「次もがんばろう」という意欲・向上心 につながっていきます。つまり、ぐんぐん伸びるサイクルを作ることになるのです。 以下は6年生の社会科のノートです。「日付」「教科書のページ数」「めあて」「調べたこと」「授業のまとめ」がきちんと記されています。一時間の授業で見開き2ページを使っています。 教科によって学習の流れは異なりますが、基本的に「めあて」→「調べる(自分で、グループで)」 →「まとめる」→「振り返る」という流れで授業が進んでいるのが分かります。



ある程度まとまった内容を学んだ後は、以下のように、自分の言葉で学びを再構成し、感想や 意見を交えて「振り返る」ことができるようになります。





(6年生の社会科ノート)



【目を大切に】

先日、ニュースで「令和5年度学校保健統計調査の結果で、裸眼視力1.0未満の割合が、小学校で3割を超え、中学校では約6割、高校では7割近くになっている」と報道されていました。

本校でも、裸眼視力1.0未満の子供の割合は、1年生では10%ですが、6年生になると47%まで増えて心配な状況です(学校全体では30%となっています)。

本校の子供たちもメディアを使う時間が多くなっている現状から、12月に「メディアコントロール」をテーマとして学校保健委員会を開催し、子供たち自身で現状と課題について調べ、メディアと上手につき合うために、どうしたらいいのか提言を作って全校に呼びかけました。

目を休める時間を作る 寝る前はメディアを使わない ルールを守ってメディアを使う 外で元気よく遊ぶ

また、学校医(眼科)の横田先生からは、

「長時間のメディア機器の使用が近視をすすめると言われています。近視が進行すると様々な目の病気になりやすくなります。近視の進行を予防するために以下の点に気を付けメディア機器を使うようにしてください。①目と画面の位置は30cm以上離す、②30分画面を見たら20秒以上遠くを見て目を休める、③1日2時間程度の屋外活動(外遊び)を心がける。」とアドバイスをいただいています。

文部科学省の資料にも、「視力低下や近視の予防には、屋外で過ごす時間を増やすことが有効」だとあります。この意味でも、本校の「外で遊ぼうDay」などの取組は意義のあることだと思います。大切な子供たちの健康です。協力して守っていきましょう。

【お願い ~安全な登下校~】

○ 地域の方から、「登下校中、ポケットに手を入れたまま歩いている子供がいます。とても危ないと思います」という声をいただいています。手袋をして、安全な登校をしましょう。

また、寒い中、旗振りをしてくださっている保護者の方や、交通指導員さんにも、明るく元気なあいさつができるように、ご家庭でもご指導をお願いします。